

愛産研 ニュース

愛産研ニュース

平成19年8月8日発行

No.65

編集・発行

愛知県産業技術研究所 企画連携部

〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@aichi-inst.jp

8月号
2007

今月の内容

トピックス

技術紹介

- ・有機金属塗布熱分解法による酸化鉄薄膜の作製とその応用例
- ・常滑焼の魅力再発見・伝統技法を記録
- ・ハイドロタルサイトのポリマー用フィラーとしての応用
- ・木材の穿孔圧縮加工

お知らせ

〈トピックス〉

● 「愛知の発明の日」に協賛して、科学教室を開催しました

当研究所では8月1日の「愛知の発明の日」に協賛して、県民の方々に研究所の活動をご紹介しますとともに、科学や技術の楽しさ、モノづくりの面白さを体験できる科学教室を本部及び各センターで開催しました。このうち8月4日(土)に本部で開催した「みんなの科学教室」には、近隣の小学生や親子連れ約540人の参加がありました。本物そっくりな人造イクラ作りや万華鏡作り、段ボール製の歩くロボット工作などを楽しんでいただき、参加者からは「楽しみながら色々なことを学べた」、「子供たちが科学を好きになりそう」、「来年も是非参加したい」などの声が多く、大変盛況に終わりました。



● やきものを彩る結晶釉が織り成す結晶の形や大きさを制御する技術を開発しました

やきものを彩る釉薬には数多くの種類があります。その1つである結晶釉は、工芸的な価値の高い釉薬ですが、釉薬が織り成す結晶の形や大きさなどを制御することが難しいため、製作者の意図を反映することが出来ませんでした。当研究所瀬戸窯業技術センターでは、この結晶の形や大きさを制御する技術を開発し、デザイン性の高いやきものを安定的に生産することを可能にしました。この研究成果は、新聞などにも多く取り上げられ、平成19年7月12日(木)から7月19日(木)に瀬戸蔵(瀬戸市)で開催された「陶&くらしのデザイン展」にも出品しました。



● 当研究所の研究課題が(独)科学技術振興機構「地域イノベーション創出総合支援事業 シーズ発掘試験」及び(財)内藤科学技術振興財団「研究助成事業」に採択されました

(独)科学技術振興機構の「地域イノベーション創出総合支援事業 シーズ発掘試験」に、愛知県内から75件の課題が採択され、当研究所からは「抵抗溶接法によるニッケル合金と鋼材のクラッド材料の開発」、「軟質木材に密度勾配を付加した機能性木質建材の開発」、「導電性織物を利用した身体挙動検知システムの開発」、「複雑組織を有する編地の3次元モデリング及び変形予測手法の研究」、「フレキシブル色素増感太陽電池用酸化チタン多孔膜の低温成膜技術」の5件が採択されました。

また、(財)内藤科学技術振興財団の「研究助成事業」では6件の課題が採択され、当研究所からは「酵素を利用した環境調和型ポリエステルオリゴマー除去技術の開発」が採択されました。